



香川大大学院  
地域マネジメント研究科准教授

## 八木 陽一郎さん

香川大大学院地域マネジメント研究科が12月から来年2月にかけて、無料で開講する公開講座「実践型社会起業家論」を企画した。行政や既存企業でカバーできない地域の問題に関し、起業により解決を目指す人材の育成が目的。地方の時代にかなう講座を企画した背景や、求められる地域のリーダー像などを聞いた。

◇

大学卒業後、CM制作の仕事に就いた。多くのスタッフがいる現場で、「どうすればみんなの個性やアイデアを生かせるか」を常に考えていた。ある時それを研究する学問があるのを知り、強い興味がわいた。

一念発起し、仕事を辞めて大学院に進学。特に、社会貢献する経営者の良き対話者になりたいとリーダーシップ論などを学び、「地域活性化に貢献するリーダーづくり」を掲げるこの大学に迎えられた。

起業家とともに問題解決したい

# ドリーマーズ

～地方時代のリーダー達～

研究で分かったのは、リーダーのプロデューサー的役割の重要性。部下がいきいきと仕事をし、互いに生かし合う環境をつくる能力だ。背景は、インターネットの普及で情報量が増え、しかも変化が早いこと。今や1人ではアンテナ、知識とも不十分で、みんなで情報を共有し、知恵を出し合うことが大切になった。

3000社以上に実施したアンケートをみても、良いリーダーにはこの部分が共通する。不可欠なのは他人を深く理解することで、それができるのは自分自身をよく知っている人。自分を振り返り、言動の影響を考える。つまり、「内省経験」の豊かな人といえる。

リーダーには、地域の問題に力を発揮してもらいたい。講座を企画したのはそんな思いからだ。だから、問題解決による地域貢献と利益追求のバランスを取る方策などを考える。地域の問題は起業のチャンスでもあり、幸い香川には地域に責任感を持つ人が多い。そんなリーダーと共に歩み、地域に役立っていきたい。

◇プロフィール

やぎ・よういちろう 1971年生まれ。学習院大法学部卒。広告代理店勤務を経て慶応大大学院博士課程修了。2007年から香川大大学院地域マネジメント研究科准教授。

きょう午前11時45分から西日本放送でオンエア